

謹啓 新緑の候ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、本県の教育行政の推進につきましまして格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびの東日本大震災により、尊い命を亡くされた皆様に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。また、被災地におきまして一刻も早い復興を強くお祈り申し上げます。

さて、厳しい雇用経済情勢の中で、本県の県立高等学校卒業生の平成二十三年三月末の就職内定率は、各事業所様の御協力のお陰をもちまして、九十六・八%と昨年と同時期を上回ることができました。

しかしながら、就職未内定のまま卒業した者が百二十六人おり、引き続き就職活動等を行っております。このうち十一人は、県が実施する「新卒未就職者地域人材育成事業」に応募し、約五ヶ月間にわたり、正規雇用を目指して研修を受けています。

三重県では、このような状況を踏まえ、産業団体、金融機関、労働団体、国機関、県行政機関等による「三重県雇用・経済危機対策会議」を平成二十一年度から開催し、緊急的な対策並びに中長期的な対応について、官民一体となつて協議を行い、関連施策に取り組んでいるところです。

今後、雇用経済情勢は震災の影響等により厳しさが増すのではないかと懸念されますが、平成二十四年三月県立高等学校及び特別支援学校高等部卒業予定者の採用枠や応募機会について、維持・拡大を切に願ひ申し上げます。

なお、三重県教育委員会では、昨年度、十年先を展望した新たな教育の指針「三重県教育ビジョン」を子どもたちの輝く未来づくりに向けて「」を策定したところです。本年度はその計画期間の初年度にあたることから、ビジョンに掲げる理念や施策の実現に向けて様々な取組を着実に進めていきます。

児童・生徒が職業や社会へ円滑に移行するための力を育成するには、地域や産業と学校との結び付きをより強化することが必要です。このため、職場体験やインターンシップ等の諸活動について、これまで以上に御理解、御協力を賜りますよう、よろしく願ひ申し上げます。

末筆ながら、貴事業所の益々の御発展をお祈り申し上げます。

敬白

平成二十三年六月

事業主様

三重県教育委員会教育長

真伏 秀樹

